

## 島前合宿に参加して

8月24日から30日まで島前合宿に参加しました。台風の影響でフェリーが欠航し延泊することになり4泊5日の予定でしたが、5泊6日でこの合宿を終えました。

私が島前合宿に参加した理由は授業内でこの合宿の説明があったときに、「楽しそう」と思ったのがきっかけでした。そんな単純な理由で参加に至った訳ですが、参加するからには、何か得て東京に帰ってこようと胸に決めました。

島前とは、中ノ島、西ノ島、知夫里島の有人島とその周辺からなる無人島の島根県の隠岐諸島に位置する群島です。新宿から松江まで夜行バスで12時間、そこから港までバスで1時間、フェリーで2時間半という外国に行けるじゃん！なんて思ってしまうようなとてつもない時間をかけて、私たちが5日間、いや6日間滞在することになる西ノ島へ向かいました。西ノ島は島前で一番大きく人口が多い島です。多いと言ってもわずか3000人ほどです。行くだけでも半日以上かかるし、こんなに長い時間バスに乗ることも初めてで、正直、フェリーに乗る頃には早く東京に帰りたい...とすでに声に出るくらいでした。でも天気も良く、綺麗な海を見ているうちに、そんな気持ちも島に着く頃にはすっかり消え去っていました。

そして島に到着した私たちは現地の食堂で昼食をとり6日間お世話になる宿に向かいました。そこで2日目に訪問する中学校での授業確認などを行い、自由時間を過ごしました。天気がよかったこともあり、夕食作りまでの時間、私たちは海へ向かいました。海で遊ぶことは、私が島前合宿でやりたかったことの1つでした。普段、山ばかりで海を見る機会が無い私たちは泳いでいる魚が見えるぐらい透明度の高い海に終始テンションが上がりっぱなしで時間を忘れるほど遊びました。宿に戻ってからは夕食作りです。滞在している間の食事は全て自分たちで作ります。初日のメニューはカレーライスで、小学校のときにあった林間学校を思い出しました。みんなで協力して夕食を作り、輪になって食べることで、ほとんど話したことのない先輩とも少し仲良くなれた気がしました。

### 中学校訪問

2日目は西ノ島中学校訪問でした。中学校では、中学生からの質問に答えながら、大学生がどんな目標を持ち、いま何を学んでいるのか、など大学のことや、自分が今までどのような価値観を持って生きてきたか、自分のターニングポイントなどをライフストーリーチャートを用いて詳しく話しました。中学生にこれからの生き方や今努力することについて考えることと、自分の考えを表現する力を養うことをねらいとしています。ライフストーリーチャートを作ることは自分にとっても自分自身の過去を見つめ直す良いきっかけとなりました。マンツーマンだったので、中学生は最初は緊張していたようですが、時間が経つにつれ、部活や恋愛の話をしてくれて仲良くなれました。そのあと給食をみんなで食べて、学校内を見学させてもらいました。訪問の10日ほど小中一貫校舎で、それほど人

数が多くない小学生と中学生と一緒にあって体育館で遊んでいるのを見て、都会ではなかなかないことで素敵だなと思ったし自分が経験出来なかったことなのでとても羨ましかったです。

### 道前さん訪問

中学校訪問のあとは、畜産を営む道前さんの牛舎で牛を見ながら、畜産のこととこの島の産業についての説明を受けました。島では放牧を行っていて、放牧は牛が自由に屋外で動き回って生育されるので、締りがよく歯ごたえがある肉になるそうです。普段このような職業の方に話を聞く機会がないのですごくタメになりました。そのあと道前さんに摩天崖という観光スポットのような場所へ連れて行ってもらいました。本当に崖で真下には真っ青な海が広がり覗き込むのも足がすくみました。1日目とは違い、天気が悪かったですが、天気が悪かったことで、晴れてたらもっと景色良かったよね、また来たいね！なんて話も出来てよかったのではないかと思います。夜は、なんと道前さんが BBQ を開いてくれました！！道前さんが育てた隠岐牛や島で採れた新鮮なサザエや大きな鯛などたくさんご馳走になりました。それがほんとに美味しくて幸せな時間でした。

### キンニャモニャ祭り

3日目は内航船で海士へ移動しキンニャモニャ祭りという地域の祭りに参加しました。両手にしゃもじを持って踊ります。老若男女問わず誰でも踊れるそうです。実際、幼稚園や高校、会社など色んな団体が円になってパレードしていました。私たちも「飛び入り参加枠」に入れさせてもらい、島の人と一緒に楽しく楽しみました。記念に踊るときに使ったしゃもじもいただきました。私が住んでいるまちでも祭りはありますが、このようにまち全体が一体になって参加する祭りは珍しいと思います。縦と横の繋がりが希薄になっている都会では考えられません。島の人みんなから愛されているのはすごいと思いました。

### 花火と星空

祭りのあとに花火大会がありました。この花火までに今年は2回花火大会に行きましたが、その2回の比にならないぐらい近くて花火が降ってくるのではないかと思わせるぐらいでした。そのくらい迫力が凄かったです。花火大会のあと、山に星を観に行きました。街灯もない真っ暗闇の中のたくさんの星は自然のプラネタリウムでした。1時間以上観ていたと思います。時折、流れ星も観え、帰りたくなくなるほどでした。島の人も、「今日の星は今年1番」とおっしゃっていたので、この星空が観れたのはとても運が良かったのではないかと思います。都会では絶対に観られないこの星空は友達に観たことを自慢したくなりました。

### 知夫島観光

4日目は自由行動だったので、島前でまだ訪れていない知夫に行くことにしました。大

雨で内航船が動くのか微妙でしたが、無事に運航していて、知夫に辿り着くことができました。知夫では、自然いっぱいの景色を楽しむ予定でしたが、雨の影響で景色を存分に楽しむことはできませんでした。また、前もって調べていたレストランがまさかの定休日で私達の予定は総崩れでした。しかし、先輩が車を借りてくれて別のレストランに連れて行って、サザエ天井というここならではの料理を食べることができました。

## 行政

5日目は西ノ島観光振興課へ職員の方のお話を聞きにいきました。対応してくれたのは、地域振興課の観光商工係、定住促進係、農林水産係の3人でした。

わかったことは、島にIターンで来る人や島にUターンする人がいつ来てもいいように、受け入れ体制が整っているということです。旅費や引っ越し費の助成を行っていて、今までに180人ほどが活用したそうです。漁業や畜産では、新規就業者に補助金交付があったり、空き家バンクに登録された家の紹介もしています。

また、話を聞いて、島の人がみんな協力してまちを盛り上げていこうという気持ちが強いのではないかと思いました。NPO団体が島に1つしかないという話と職員の方が営利的なのは向いていないというお話をされていたので、こう考えました。まだまだ行動には移せていないそうですが、前向きに観光客と島の人との交流ができるような体験型のイベントも考えているそうなので、実現されればいいなと思います。普段聞くことができない貴重なお話を聞くことができてもものすごく勉強になりました。密度の濃い時間を過ごさせていただきました。

## 全体の感想

全体を通しては、毎日が充実していて参加してよかったなと心から思える5泊6日でした。東京にいたら経験できないことをたくさん経験出来ました。また島の人にあたかさに触れることができた合宿でもありました。人との関わりが大切であることを改めて知る良い機会となりました。また島前だけでなく他の地域にも足を運んでみたいです。島前で素晴らしい6日間になったのも、一緒に過ごした先輩や同期のおかげです。本当に感謝しています。この経験を無駄にせず、これからも現代福祉学部で学んでいきたいと思います。